

## 第3次広島市環境基本計画（骨子案）の用語解説

### 1 本計画の基本的事項

#### 広島市環境の保全及び創造に関する基本条例

本市における環境の保全及び創造について基本理念を定め、並びに本市、事業者及び市民の責務を明らかにするとともに、環境の保全及び創造に関する施策の基本となる事項を定めた条例。本条例において、環境の保全及び創造に関する基本的な計画（環境基本計画）を定めるものとしている。

#### 部門計画

本市の都市像とそれを実現するための施策の構想などを定めた「広島市基本構想」と、基本構想を達成するための施策の大綱を総合的・体系的に定める「広島市基本計画」に基づき、環境分野など、ある分野や課題などに特化して、より具体的な施策や事業を設定する計画

#### 中長期的な指針・視点

本計画に掲げる環境像の実現を目指して、諸施策を展開していくための指針・視点。本計画では、各行政分野における個別具体的な施策の展開等を柔軟かつ弾力的に行えるよう、包括的かつ中長期的な視点を確保することを重視している。

### 3 計画の体系

#### 超高齢社会

高齢化率が高齢社会よりも高くなった社会。一般に、高齢化率が、7%以上の社会を高齢化社会、14%以上の社会を高齢社会、21%以上の社会を超高齢社会という。

#### 生物多様性地域戦略

生物多様性基本法に基づき地方公共団体が策定する、生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画

#### 循環型社会

廃棄物の発生抑制、資源の循環利用及び廃棄物の適正処理により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会

#### ゼロエミッションシティ広島

広島市が目指す、市民・事業者・行政の協働により、ごみの発生を極力抑制し、どうしても発生するごみは、経済的・技術的に可能な限り資源として有効に循環利用し、最後に残ってしまったごみは適正に処分することにより、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷が低減される美しく魅力あふれる都市。「ゼロエミッション」は、平成7年に国連大学が提唱した、資源の使用効率を高め、廃棄物がゼロになることを目指すという構想。

#### 都市の低炭素化

都市における社会経済活動その他の活動に伴って発生する二酸化炭素の排出を抑制し、その吸収作用を保全・強化すること。

#### オゾン層

成層圏に存在する、オゾン（O<sub>3</sub>）を比較的多く含む層。太陽光に含まれる有害紫外線の大部分を吸収し、地球上の生物を保護する役割を果たす。

#### 酸性雨

窒素酸化物、硫黄酸化物等を起源とする酸性物質が溶け込んで降る酸性の雨。水素イオン濃度指数（pH）が5.6以下。土壌、森林、湖沼、建造物等に被害を与える。